

第 25 回透析医療費実態調査報告

太田圭洋*1 山川智之*1 土谷晋一郎*1 安藤亮一*2 甲田 豊*2 小林真也*2
百武宏幸*2 宍戸寛治*2 秋澤忠男*2

*1 日本透析医会医療経済委員会制度調査部会/同 常任理事会 *2 同 常任理事会

key words : 透析, 診療報酬, 医療費, 新型コロナ, 薬価改定

要 旨

2021 年の透析医療費実態調査の結果から、維持透析 1 回あたりの請求額は 3,038.5 点と、前年の 3,024.4 点から 14 点の増加であった。2021 年は診療報酬改定のない年度であるが、初めて中間年の薬価改定が行われたため投薬料の大幅な減少が認められた。その状況の中、全体の請求合計がわずかながら増加したのは、新型コロナ対応として実施されている再診料の加算やコロナ関連検査・隔離診察の実施など特殊事情に加え、オンライン HDF 症例割合の上昇、慢性透析患者外来医学管理料（慢透）の腎代替療法実績加算の算定割合の上昇によるものと考えられた。

はじめに

日本透析医会の透析医療費実態調査は 1997 年より開始して今年で 25 回目となる。この調査結果は日本医師会や厚生労働省へ提出する要望書の裏付けになっている。

今年の調査は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの中で実施された調査であり、例年にはない、疑似症に対応した際に臨時に算定する院内トリアージ加算（300 点）や、新型コロナ診断のための PCR 検査・抗原検査等の請求件数も集計を行った。また、さまざま上市された HIF-PH 阻害薬などの高額薬剤の使用も把握するための集計プログラム修正も行っている。

1 調査方法

調査の対象は、①慢性維持透析患者外来医学管理料（慢透）を算定していること、②定点観測は 6 月分と

し、月水金（昼・夜すべてのシフト）で月 13 回の透析を実施していること、③オフライン HDF やリクセル使用症例は除外すること、である。今回も会員諸兄のご協力により 159 施設より 11,849 件の外来レセプトデータをいただき分析を行った。本年度調査は例年と同様クラウド集計を行うシステムで調査を実施しており、コンピューターソフトが自動的に対象レセプトを抽出している。その結果、有効レセプト数は同数の 11,849 件である。

2 調査結果

表 1 に今回の調査を含む過去 25 回の集計結果の時系列表を示す。今回の調査の平均年齢は 66.3 歳（前年 66.2 歳）、透析歴 9.8 年（前年 9.8 年）であった。

請求合計点数は 39,499.9 点であり、前年（2020 年）の 39,316.8 点に比し 183.1 点（0.5%）の増加であった。投薬は 2,459.4 点と 2020 年に比べ 225 点の減少、注射は 1,534.4 点と 7.6 点の減少であった。夜間加算の算定割合は 25.2%、障害加算の比率は 25.5% とほぼ横ばいであった。また院外処方割合は 69.4% と、ここ数年増加傾向は弱まっていたが、再度上昇を認めた。

今年度の調査結果の全体集計を **表 2** に示す。

今回調査では透析 1 回あたりの請求合計 3,038.5 点と前年と比較し 14 点の増加となった。2021 年は診療報酬改定はないものの初めての中間年薬価改定が実施された年である。投薬料は前年の 2,684.4 点から 2,459.4 点へ 225 点の大幅な減少となった。透析 1 回あたりに割り返すと 17 点の減少である。レグパラ他として集計している高額薬剤（レグパラ、オルケディア、ホスレノール、レミッチ、エルカルチン、リオナ、

表 1 第 1 回～第 25 回調査までの集計結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	1997 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年
施設数(施設)	34	99	125	128	132	149	182	179	190	185	184	199	200	208
総数(人)	3,779	3,603	4,519	4,748	5,058	5,274	8,633	8,388	9,078	8,821	9,265	9,903	10,447	10,693
病院(人)	1,861	1,636	2,039	2,583	2,719	2,670	4,328	3,913	4,053	3,980	3,941	4,273	4,602	4,822
診療所(人)	1,918	1,967	2,480	2,165	2,339	2,604	4,305	4,475	5,025	4,841	5,324	5,630	5,845	5,871
透析回数(回)	12.5	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
平均年齢(歳)	57.1	56.4	56.9	57.8	58.4	62.6	59.4	60.2	60.8	61.4	62.1	62.4	62.9	63.4
透析歴(年)	8.5	8.9	8.7	9.0	9.0	7.8	8.96	9.01	9.1	9.03	9.2	9.3	9.3	9.2
管理指導料(点)	2,593.2	3,019.4	3,025.8	2,920.6	2,921.3	2,813.6	2,832.3	2,635.1	2,638.6	2,510.1	2,525.1	2,529.2	2,535.6	2,534.8
在宅(%)	7.8	6.1	6.3	7.3	7.6	10.5	8.4	9.3	9.3	9.5	10.5	11.1	11.7	12.5
注射(点)	4,633.5	4,419.8	4,186.1	4,198.1	4,697.3	4,432.3	4,637.7	4,452.5	4,602.1	1,291.8	1,363.7	1,420.0	1,481.4	1,467.6
投薬(点)	1,628.1	1,815.0	1,684.3	1,755.5	1,803.1	1,743.4	1,802.6	2,001.7	2,131.4	2,030.9	2,108.1	2,292.0	2,762.8	2,887.5
EPO(%)	72.7	78.1	78.7	79.6	81.9	83.2	82.3	83	83.97	—	—	—	—	—
夜間加算(%)	29.5	30.6	31.1	30.3	29.0	17.9	30.2	29.6	28.9	28.5	28.1	27.4	26.8	26.2
障害者加算(%)	25.9	19.0	17.6	20.8	21.3	24.3	20.8	21.2	20.9	22.1	22.4	22.9	23.9	23.9
検査(点)	533.9	600.9	665.3	575.1	608.0	528.5	524.1	506.3	481.2	356.5	356.9	311.5	329.7	315.7
画像診断(点)	365.8	158.9	161.2	217.7	208.0	212	228.6	218.1	208.1	186	174.3	176.1	201.6	215.2
透析食(点)	—	817.9	818	818.7	817.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
院外処方(%)	19.5	13.3	26.5	27.7	25.6	32.8	33.8	37.6	37.2	44.8	44.7	45.6	48.2	47.4
除夜障害手術(点)	43,124.7	43,525.7	43,095.5	42,303.5	42,971.6	39,286.1	39,604.8	38,795.9	38,997.1	38,362.1	38,498.3	38,162.6	38,534.1	38,330.4
透析医療費 (除夜障害手術)/1 回(点)	3,317.3	3,348.1	3,315.0	3,254.1	3,305.5	3,022.0	3,046.5	2,984.3	2,999.8	2,950.9	2,961.4	2,935.6	2,964.2	2,948.5
請求合計(点)	45,338.0	45,700.5	45,242.9	44,540.6	45,137.6	40,755.3	41,824.9	41,014.3	41,160.8	39,843.1	39,976.7	39,659.0	40,054.4	39,835.2
透析医療費 (請求合計)/1 回(点)	3,487.5	3,515.4	3,480.2	3,426.2	3,472.1	3,135.0	3,217.3	3,154.9	3,166.2	3,064.9	3,075.1	3,050.7	3,081.1	3,064.2
Ⅳ型(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63.57	72.8	81.30	79.50	76.7
Ⅴ型(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	6.6	10.5	16.9	21.4

	15	16	17	18	19	20		21	22	23	24	25
	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年		2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
						調査①	調査②					
施設数(施設)	204	210	200	202	203	164	119	140	170	171	161	159
総数(人)	10,602	12,242	8,785	12,195	12,551	10,989	8,863	9,899	12,078	11,939	12,082	11,849
病院(人)	4,559	5,457	4,309	5,551	5,457	4,868	4,139	4,189	5,585	5,532	5,443	5,236
診療所(人)	6,043	6,785	4,476	6,644	7,094	6,121	4,724	5,710	6,493	6,407	6,639	6,613
透析回数(回)	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	13	13
平均年齢(歳)	63.6	64.3	68.5	64.7	65.0	65.4	64.8	65.3	65.5	65.8	66.2	66.3
透析歴(年)	9.4	9.5	8.2	9.7	9.7	9.7	10.0	9.9	9.8	9.8	9.8	9.8
管理指導料(点)	2,537.6	2,539.5	2,526.1	2,489.1	2,490.9	2,514.4	2,511.8	2,516.5	2,558.4	2,568.3	2,585.7	2,596.8
在宅(%)	12.5	13.2	14.6	12.9	12.2	12.0	11.6	12.6	12.6	12.7	13.4	13.9
注射(点)	1,494.0	1,457.8	1,482.7	1,534.5	1,509.0	1,302.9	1,308.5	1,501.3	1,471.4	1,398.1	1,526.8	1,534.4
投薬(点)	3,112.7	3,229.9	3,198.1	3,710.0	3,809.0	3,491.1	3,440.8	3,286.9	3,266.8	2,733.1	2,684.4	2,459.4
EPO(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
夜間加算(%)	26.6	25.5	11.0	25.7	24.9	24.8	26.0	24.8	25.8	25.0	25.2	25.2
障害者加算(%)	24.0	24.3	27.5	23.6	23.0	24.1	24.3	24.6	26.0	25.9	25.3	25.5
検査(点)	316.1	355.8	358.8	419.5	424.0	393.6	407.0	409.6	428.8	422.4	417.0	469.8
画像診断(点)	219.3	232.1	278.8	237.4	256.3	249.7	255.2	246.1	264.8	255.6	276.0	227.6
透析食(点)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
院外処方(%)	50.3	52.1	53.5	59.0	63.7	63.0	64.0	64.5	67.3	67.0	67.0	69.4
除夜障害手術(点)	38,461.3	38,318.6	38,324.7	38,614.2	38,582.3	38,112.6	38,083.4	38,325.6	37,807.9	35,346.6	37,314.4	37,424.5
透析医療費 (除夜障害手術)/1 回(点)	2,958.6	2,947.6	2,948.1	2,970.3	2,967.9	2,931.7	2,929.5	2,948.1	2,908.3	(13 回) 2,924.4 (12 回) 2,845.6	2,870.3	2,878.8
請求合計(点)	39,986.5	39,873.2	39,433.5	40,201.3	40,196.7	39,779.5	39,805.0	39,998.2	39,826.0	37,266.5	39,316.8	39,499.9
透析医療費 (請求合計)/1 回(点)	3,075.9	3,067.2	3,033.3	3,092.4	3,092.1	3,060.0	3,061.9	3,076.8	3,063.5	(13 回) 3,084.4 (12 回) 3,105.5	3,024.4	3,038.5
Ⅳ型(%)	69.8	68.2	63.4	58.7	56.6	—	—	—	—	—	—	—
Ⅴ型(%)	27.7	28.8	25.2	27.4	25.7	—	—	—	—	—	—	—

表2 病院・診療所全体の集計結果

	年齢	透析歴	再診計	12：地域包括	13：指導	栄養指導	栄養指導(通信)
標本数	11,849	11,641	11,835	357	11,849	2,425	3
合計	785,915	114,228	12,565,139	76,471	30,769,080	487,290	540
平均	66.33	9.81	1061.69	214.20	2596.77	200.94	180.00
標準偏差	12.80	8.75	78.43	40.28	270.01	10.59	0.00
	集団栄養(80)	特定疾患(225)	特定疾患(100)	腎代替加算(100)	院内トリアージ(臨時)	特定疾患(147)	特定疾患(87)
標本数	115	4,381	0	4,488	142	1,200	557
合計	9,200	1,960,875	0	448,800	59,400	348,243	94,221
平均	80.00	447.59	0.00	100.00	418.31	290.20	169.16
標準偏差	0.00	23.18	0.00	0.00	295.65	23.32	19.95
	その他情報	14：在宅	25：処方	20：投薬	うちレグパラボカ	うちHIF阻害薬	30：注射
標本数	4,959	1,649	4,225	4,266	2,584	2	9,153
合計	700,761	3,010,631	869,539	10,491,619	5,117,158	1,848	14,044,100
平均	141.31	1825.73	205.81	2459.36	1980.32	924.00	1534.37
標準偏差	160.41	1390.27	112.10	3845.52	1624.50	0.00	1304.12
	うちVD3	40：処置	ペンレス・ユーパッチ	人工腎1 4時間未満(イ)	人工腎1 4時間未満(ニ)	人工腎1 4-5時間(ロ)	人工腎1 4-5時間(ホ)
標本数	6,634	11,849	6,202	1,686	12	9,421	84
合計	8,811,766	383,314,632	513,378	23,613,252	190,588	236,194,308	1,924,714
平均	1328.27	32349.96	82.78	14005.49	15882.33	25071.04	22913.26
標準偏差	860.34	2709.55	17.12	10537.91	9074.51	5561.17	5213.58
	人工腎1 5時間以上(ハ)	人工腎1 5時間以上(ヘ)	人工腎2 4時間未満(イ)	人工腎2 4時間未満(ニ)	人工腎2 4-5時間(ロ)	人工腎2 4-5時間(ホ)	人工腎2 5時間以上(ハ)
標本数	2,305	6	36	0	242	0	17
合計	51,975,637	58,604	472,884	0	6,226,024	0	434,800
平均	22549.08	9767.33	13135.67	0.00	25727.37	0.00	25576.47
標準偏差	9553.02	7011.46	10062.57	0.00	3463.10	0.00	6350.49
	人工腎2 5時間以上(ヘ)	人工腎3 4時間未満(イ)	人工腎3 4時間未満(ニ)	人工腎3 4-5時間(ロ)	人工腎3 4-5時間(ホ)	人工腎3 5時間以上(ハ)	人工腎3 5時間以上(ヘ)
標本数	0	3	0	25	1	2	0
合計	0	71,916	0	633,683	24,349	44,709	0
平均	0.00	23972.00	0.00	25347.32	24349.00	22354.50	0.00
標準偏差	0.00	0.00	0.00	3133.78	0.00	5322.50	0.00
	長時間加算	うちダイア計	うち1a型	うち1b型	うち2a型	うち2b型	うちS型
標本数	263	5,510	2,809	0	1,859	452	347
合計	376,350	10,959,501	5,286,000	0	3,498,520	903,221	706,320
平均	1430.99	1989.02	1881.81	0.00	1881.94	1998.28	2035.50
標準偏差	689.52	684.35	309.86	0.00	274.19	260.83	306.15
	うち特定積層型	透析濾過加算(50)	ヘモダイアフィルター	夜間	障害	水質確保	下肢末梢
標本数	82	6,553	6,537	2,992	3,016	11,756	10,943
合計	565,440	4,218,950	22,892,608	13,210,320	5,406,660	1,528,230	1,094,300
平均	6895.61	643.82	3502.01	4415.21	1792.66	130.00	100.00
標準偏差	1337.09	43.27	237.29	1166.28	199.69	0.24	0.00
	50：手術	手術・麻酔	うち輸血	うちPTA(初回)	うちPTA(初回実施後3月以内)	初回実施後3月以内理由ア	初回実施後3月以内理由イ
標本数	365	389	30	247	49	7	36
合計	5,963,608	5,974,548	147,500	4,544,599	915,486	118,066	683,828
平均	16338.65	15358.74	4916.67	18399.19	18683.39	16866.57	18995.22
標準偏差	8127.74	8775.17	3401.83	4775.05	5758.04	2112.97	6883.67
	うちシャント	うちその他	60：検査	うち生体	うち検体	SARS-CoV-2 核酸検出(検査委託)	SARS-CoV-2 核酸検出(検査委託以外)
標本数	6	74	8,389	4,899	6,208	73	44
合計	56,244	299,779	3,941,086	2,571,108	1,311,405	147,600	62,100
平均	9374.00	4051.07	469.79	524.82	211.24	2021.92	1411.36
標準偏差	3458.11	6735.34	592.84	519.08	381.67	591.78	281.20

表 2 (つづき)

	SARS-CoV-2 抗原検出	SARS-CoV-2 抗原検出(定量)	70：画像	うち胸部	うち胸部ほか	80：その他	院外処方
標本数	115	13	8,686	6,800	2,851	8,269	8,229
合計	71,400	7,800	2,411,372	402,300	2,009,072	2,443,183	1,993,921
平均	620.87	600.00	277.62	59.16	704.69	295.46	242.30
標準偏差	109.94	0.00	631.52	32.41	940.06	405.59	135.41
	請求合計	除夜間	除障害	除夜障手	レグバラ	オルケディア	ホスレノール
標本数	11,849	11,849	11,849	11,849	72	826	1,553
合計	468,033,844	454,823,524	462,627,184	443,442,316	159,866	1,112,742	1,737,417
平均	39499.86	38384.97	39043.56	37424.45	2220.36	1347.15	1118.75
標準偏差	5455.60	5126.21	5351.48	3708.36	1349.79	827.18	715.22
	レミッチ	エルカルチン	リオナ	ピートル	オキサロール	ロカルトロール	エルカルチン FF
標本数	267	11	739	424	3,860	1,511	2,363
合計	646,367	25,774	675,145	643,272	3,615,132	1,469,798	2,485,800
平均	2420.85	2343.09	913.59	1517.15	936.56	972.73	1051.97
標準偏差	1483.73	745.77	529.32	810.40	498.39	505.91	365.83
	パーサビブ	ロケルマ(合算)	エベレンブ (合算)	ダーブロック (合算)	バフセオ(合算)	エナロイ(合算)	
標本数	2,658	53	0	2	0	0	
合計	4,083,573	116,575	0	1,848	0	0	
平均	1536.33	2199.53	0.00	924.00	0.00	0.00	
標準偏差	828.80	1266.34	0.00	0.00	0.00	0.00	

ピートル、ロケルマ)も1,980.3点へ、対前年で230点減少しており、投薬料の減少のほとんどは高薬剤の薬価の引き下げによるものと考えられた。

この投薬料の減少にもかかわらず、今年度の請求合計が減少しなかった理由は、新型コロナウイルス対応として、9月末まで認められた医科外来等感染症対策実施加算の5点が再診料に加算され、1透析あたり5点増点になっていること、慢性透析患者外来医学管理料(慢透)の腎代替療法実績加算(100点/月)の算定割合が31.4%から37.8%に増加していること、およびオンラインHDF比率が前年に52.7%から55.3%に2.6ポイント増加していることによる。ヘモダイアフィリタ使用症例、透析ろ過加算の算定症例の比率が増加したことにより処置料全体も上昇しており、これら複数の要因により投薬料減少は相殺され、透析1回あたりの請求合計は前年と比較しわずかではあるが増加する結果となった。

2018年改定において、効率性により人工腎臓は1～3に区分された。前回の調査では人工腎臓2での請求は101件であったが、今回は295件と大幅に増加を認めた。人工腎臓3の請求も前回0件であったが今回は31件と増加していた。調査協力医療機関のばらつきによるものと思われるが、効率性による区分の推移に

は今後も注視していく必要がある。

2020年改定により新設されたHIF-PH阻害薬を院外処方した場合に算定する「人工腎臓ニホへ」は、人工腎臓1において前年の32件から102件と大幅に増加しており、まだ全体に占める割合は少ないものの増加傾向が認められた。

手術料は、PTAの点数の大幅に引下げられた前回改定直後の調査である昨年との比較では大きな変化は認められなかった。前回調査から初回PTAと2回目PTAを区別して集計できるようシステムを修正しているが、今回調査では初回が247件、2回目が49件請求されており、2回目の比率は約20%であった前回から16.5%へと低下が認められた。

2016年改定で新設された下肢末梢動脈疾患指導管理加算の算定は11,114件と全体の92.3%であり、前回の92.0%とほぼ変化はなかった。一昨年までは増加傾向にあったが上げ止まりの印象である。

慢性透析患者外来医学管理料(慢透)の腎代替療法実績加算は、前年の31.4%の算定割合から37.8%(4,488件)に大幅に増加を認めた。前回改定において、移植の実績が、過去2年で1人から前年度に3人以上と厳格化されたことの影響からか、前年は算定割合が若干減少したものの、本年度の調査では大幅に算定件

数が増加していた。今後、算定割合がさらに上昇していくか注視していく必要がある。

今回の調査では、新型コロナウイルス感染症（および疑似症）対応の特別な請求点数の集計も行っている。

新型コロナ疑似症を診察する場合に請求する院内トリアージ加算（300点）は、142件のレセプトで請求されており、全レセプトに占める割合は1.2%であった。6月は第4波と第5波の間で新型コロナの感染状況は比較的落ち着いていた時期ではあったが、各施設が院内感染に注意し感染防御着等を着用しながら治療にあたっている例が多数あったことが確認された。

また新型コロナのPCR検査を請求している件数は117件（1.0%）、抗原検査を請求しているレセプトも128件（1.1%）認められ、積極的に透析施設で新型コロナに關係する検査を実施していることが確認された。

3 院内処方施設の分析

院外処方比率は、本年は69.4%と前年の67.0%と比較し増加を認めた。ここ数年、院外処方比率の上昇傾向は止まっていたが、本年調査では再度上昇を認め、今後もこの傾向が継続するのか注視していく必要がある。院外処方比率の影響を排除し投薬料の傾向を把握するために、過去、院内・院外処方分けての分析を行ってきている。院内処方症例の集計結果を表3に示す。

院内処方3,593例では、請求合計は41,230.4点となり、前年の41,145.9点と比較し84.5点（0.2%）の減少となっている。前述のように、中間年薬価改定の影響により投薬料は2,769.0点と、前年2,967.2点から198.2点の大幅減少があるが、処置料は32,354.8点から32,379.8点へ25点増加、腎代替療法実績加算の算定割合が30.0%から38.0%へ大幅に増加、再診料が1,004.5点から1,072.0点へ68点増加、検体検査が408.8点から476.8点へ68点増加している。請求合計の減少に及ぼす中間年薬価改定による投薬料減少の影響は、上記の要因によりほぼ相殺された形となっている。

以前から高額薬剤として再掲として集計しているランタン、シナカルセト、ナルフラフィン、カルニチン、クエン酸第二鉄、スクロオキシ水酸化鉄、エボカルセト、ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウムに加え、6月時点で上市されているHIF-PH阻害薬4剤を高額薬

剤として集計している。これら8剤の請求は1,980.5点であり投薬料全体の点数の約50%を占めている。

CKD-MBDの治療薬であるシナカルセト、エボカルセト、エテルカルセチドは、使用件数でそれぞれ64件、804件、863件となっていた。シナカルセト使用割合は昨年と同様かなり小さくなっており、エボカルセトへの移行が順調に進んでいるとともに、エテルカルセチドの使用割合の上昇も認められた。

シナカルセト、ランタン、ナルフラフィンに関しては後発医薬品も含めて集計している。前年と比較し、ランタンの請求は1,327点から1,125点へ202点（15%）減少、ナルフラフィンの請求は2,905点から2,454点へ451点（15%）減少していた。後発医薬品へのシフトおよび薬価引き下げの影響と考えられた。

4 考察

—施設基準の届出状況に関して（厚生労働省資料）

毎年9月に、中央社会保険医療協議会（中医協）総会において、各年7月の主な施設基準の届出状況が報告される。表4に今年報告された過去3年の施設基準に関して、透析関連を抜粋して示す。各年の上段が病院数、下段が診療所数である。

前回改定で新設された保存期腎不全患者に対する情報提供体制を評価する腎代替療法指導管理料は、310病院、58診療所が届出したことが示されている。

在宅血液透析指導管理料に関しては、134病院、164診療所が届け出ており、毎年増加傾向が認められる。

効率性の指標による区分である「慢性維持透析を行った場合2」に関しては、医会の今年度調査では患者数割合は増加していたが、届け出施設数は減少傾向にあることがわかる。

腎代替療法実績加算に関しては、届出病院・診療所数は昨年と比較し大幅に減少しており、本調査の傾向と矛盾が生じている。これは、コロナ禍の中、施設基準の届出に関してコロナ関連の医療機関は届出の経過措置等の特例により届け出が免除されていることが影響していると考えられた。

下肢末梢動脈疾患指導管理加算に関しては、本調査では増加がほぼ止まっている結果であったが、届出施設数で見ると毎年増加傾向が継続していることが確認できる。

今後も、透析医療の診療報酬関連データに関しては、

表3 院内処方施設の集計結果

	年齢	透析歴	再診計	12：地域包括	13：指導	栄養指導	栄養指導(通信)
標本数	3,593	3,593	3,593	217	3,593	618	1
合計	239,214	35,948	3,851,865	49,140	9,334,882	124,380	180
平均	66.58	10.00	1072.05	226.45	2598.07	201.26	180.00
標準偏差	12.79	8.89	86.43	11.52	250.54	8.61	0.00
	集団栄養(80)	特定疾患(225)	特定疾患(100)	腎代替加算(100)	院内トリアージ(臨時)	特定疾患(147)	特定疾患(87)
標本数	0	1,347	0	1,365	41	410	141
合計	0	603,225	0	136,500	15,900	119,658	23,142
平均	0.00	447.83	0.00	100.00	387.80	291.85	164.13
標準偏差	0.00	22.00	0.00	0.00	178.33	17.65	27.59
	その他情報	14：在宅	25：処方	20：投薬	うちレグパラボカ	うちHIF阻害薬	30：注射
標本数	3,080	538	3,593	3,593	2,498	2	2,598
合計	228,147	1,243,727	806,483	9,949,022	4,947,335	1,848	4,000,998
平均	74.07	2311.76	224.46	2769.00	1980.52	924.00	1540.03
標準偏差	118.81	1497.32	105.68	3182.58	1622.54	0.00	1359.66
	うちVD3	40：処置	ペンレス・ユーパッチ	人工腎1 4時間未満(イ)	人工腎1 4時間未満(ニ)	人工腎1 4-5時間(ロ)	人工腎1 4-5時間(ホ)
標本数	1,874	3,593	1,976	533	1	2,777	6
合計	2,396,001	116,340,750	165,254	7,467,044	23,374	69,711,884	144,892
平均	1278.55	32379.84	83.63	14009.46	23374.00	25103.31	24148.67
標準偏差	872.02	2678.44	17.18	10598.57	0.00	5313.87	2918.81
	人工腎1 5時間以上(ハ)	人工腎1 5時間以上(ヘ)	人工腎2 4時間未満(イ)	人工腎2 4時間未満(ニ)	人工腎2 4-5時間(ロ)	人工腎2 4-5時間(ホ)	人工腎2 5時間以上(ハ)
標本数	665	1	25	0	197	0	13
合計	14,350,273	4,186	354,192	0	5,069,120	0	332,622
平均	21579.36	4186.00	14167.68	0.00	25731.57	0.00	25586.31
標準偏差	9852.02	0.00	9740.41	0.00	3578.14	0.00	6987.77
	人工腎2 5時間以上(ヘ)	人工腎3 4時間未満(イ)	人工腎3 4時間未満(ニ)	人工腎3 4-5時間(ロ)	人工腎3 4-5時間(ホ)	人工腎3 5時間以上(ハ)	人工腎3 5時間以上(ヘ)
標本数	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0
平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
標準偏差	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	長時間加算	うちダイア計	うち1a型	うち1b型	うち2a型	うち2b型	うちS型
標本数	101	1,408	450	0	557	303	78
合計	137,400	2,814,892	805,500	0	1,031,229	614,341	154,062
平均	1360.40	1999.21	1790.00	0.00	1851.40	2027.53	1975.15
標準偏差	683.41	844.04	451.00	0.00	333.24	153.53	411.03
	うち特定積層型	透析濾過加算 (50)	ヘモダイア フィルター	夜間	障害	水質確保	下肢末梢
標本数	29	2,288	2,276	802	968	3,586	3,312
合計	209,760	1,467,050	7,938,048	3,532,100	1,695,400	466,170	331,200
平均	7233.10	641.19	3487.72	4404.11	1751.45	130.00	100.00
標準偏差	834.82	51.49	280.84	1112.34	319.39	0.17	0.00
	50：手術	手術・麻酔	うち輸血	うちPTA(初回)	うちPTA(初回 実施後3月以内)	初回実施後3月 以内理由ア	初回実施後3月 以内理由イ
標本数	111	117	8	77	17	1	16
合計	1,884,077	1,888,741	42,767	1,389,942	339,149	19,234	319,915
平均	16973.67	16143.09	5345.88	18051.19	19949.94	19234.00	19994.69
標準偏差	7305.66	8017.70	3246.12	3813.92	4656.63	0.00	4796.40
	うちシャント	うちその他	60：検査	うち生体	うち検体	SARS-CoV-2 核酸 検出(検査委託)	SARS-CoV-2 核酸 検出(検査委託以外)
標本数	3	24	2,378	1,288	1,768	13	28
合計	23,147	89,072	1,133,862	700,242	420,776	32,400	39,150
平均	7715.67	3711.33	476.81	543.67	238.00	2492.31	1398.21
標準偏差	3966.82	4718.03	632.27	561.92	411.41	875.71	250.53

表3 (つづき)

	SARS-CoV-2 抗原検出	SARS-CoV-2 抗原検出(定量)	70:画像	うち胸部	うち胸部ほか	80:その他	院外処方
標本数	27	6	2,701	1,973	943	40	0
合計	16,800	3,600	678,627	113,658	564,969	84,195	0
平均	622.22	600.00	251.25	57.61	599.12	2104.88	0.00
標準偏差	113.31	0.00	547.04	7.12	795.86	786.21	0.00
	請求合計	除夜間	除障害	除夜障手	レグバラ	オルケディア	ホスレノール
標本数	3,593	3,593	3,593	3,593	64	804	1,505
合計	148,140,889	144,608,789	146,445,489	141,024,648	131,334	1,079,011	1,693,678
平均	41230.42	40247.37	40758.56	39249.83	2052.09	1342.05	1125.37
標準偏差	6041.70	5754.09	5884.85	4358.68	1135.09	821.84	716.66
	レミッチ	エルカルチン	リオナ	ピートル	オキサロール	ロカルトロール	エルカルチンFF
標本数	254	11	716	410	1,046	491	566
合計	623,372	25,774	655,720	628,691	831,974	456,997	620,700
平均	2454.22	2343.09	915.81	1533.39	795.39	930.75	1096.64
標準偏差	1487.76	745.77	525.59	805.17	492.27	500.91	331.46
	パーサビブ	ロケルマ(合算)	エベレンブ (合算)	ダーブロック (合算)	バフセオ(合算)	エナロイ(合算)	
標本数	863	49	0	2	0	0	
合計	1,328,963	109,755	0	1,848	0	0	
平均	1539.93	2239.90	0.00	924.00	0.00	0.00	
標準偏差	780.93	1289.69	0.00	0.00	0.00	0.00	

表4 主な施設基準の届出状況(各年7月1日現在)

名 称	施設基準の概要	届出医療機関数 (上段:病院数/下段:診療所数)			
		平成30年	令和元年	令和2年	
腎代替療法指導管理料	・診療経験を有する専任の常勤医師や常勤看護師が連携して診療を行う体制があること 等			310 58	
在宅血液透析指導管理料	・在宅血液透析に係る医療を提供するにつき必要な体制が整備されている	130 141	131 156	134 164	
人工腎臓	・透析用監視装置の台数 ・透析用監視装置の台数に対する人工腎臓を行う患者の数の割合	慢性維持透析を 行った場合1	2,284 2,084	2,308 2,126	2,334 2,142
		慢性維持透析を 行った場合2	16 37	16 30	15 32
導入期加算1, 導入期加算 2及び腎代替療法実績加算	・当該療法を行うにつき十分な説明を行っている	1	1,674	1,722	1,926
	・当該療法を行うにつき十分な説明を行っている ・当該療法を行うにつき必要な実績を有している	2及び腎代替療法 法実績加算	522 143	552 159	392 111
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・透析治療に用いる装置及び透析液の水質を管理するにつき十分な体制が整備されている		1,876	1,977	2,042
			1,860	1,933	1,967
下肢末梢動脈疾患指導管理 加算	・慢性維持透析を実施している患者全員に対し、療養上必要な指導管理を行っている ・十分な体制が整備されている 等		1,571 1,626	1,642 1,680	1,693 1,718

中医協総会 2021.9.15 資料より。

医会が実施している本調査結果とともに、施設基準の届出状況のデータ、NDB データなども活用しながら、より正確に現在の透析医療の状況を把握するよう努力していくことが重要である。

さいごに

2021年の透析医療費実態調査の結果から、維持透析1回あたりの請求額は3,038.5点と前年の3,024.4点から14点の増加であった。2021年は診療報酬改定の

ない年度であるが、初めて中間年の薬価改定が行われたため投薬料の大幅な減少が認められた。その状況の中、全体の請求合計がわずかながら増加したのは、新型コロナ対応として実施されている再診料の加算やコロナ関連検査・隔離診察の実施など特殊事情に加え、オンライン HDF 症例割合の上昇、慢性透析患者外来医学管理料（慢透）の腎代替療法実績加算の算定割合の上昇によるものと考えられた。